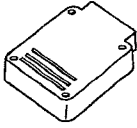
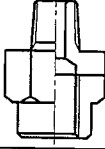

8 卷末資料

8-1	新設特殊工具	8-2
8-2	給油脂	8-2
8-3	サービスデーター	8-3
8-4	点検整備方式	8-5

区分	工具番号	工 具 名 称	用 途
ST	24082AA050	スバルセレクトモニター用 カートリッジ 	既設の22783AA000アダプターケーブル を併用する。
	498895600	プレッシャーゲージ アダプター 	3ATのライン圧測定用

No.	給 油 個 所 名		油 脂 名		備 考
1	ラジエーター		冷却水	スバル純正クーラント	
2	エ ン ジ ン		エンジンオイル	スバルモーターオイル SH (SH 級) SG (SG 級)	
3	スーパーチャージャー			スーパーチャージャーオイル	通常はオイル量点検
4	トランスミッション	M T	トランスミッションオイル	スバルギヤオイルエクストラ75/80	
		3 A T	トランスミッションオイル	出光マチックC	市場油VIVIO-3ATと共用
5	フロントデファレンシャル		フロントデファレンシャルオイル	トランスミッションオイル (MT) に同じ	
6	ブ レ ー キ		ブレーキフルード	スバル純正ブレーキフルードS	
7	トランスミッション メインシャフトスプライン部		グリース	FX2200クラッチグリース (フロント) 日石N&B (リヤ)	
8	アクスルシャフト ベアリング&オイルシール		グリース	シェル6459N	
9	B J		グリース	モリレックスNo.2またはサンライト	
	DOJ			TB2-A	
	T J			SSG-6003	
10	ブレーキ	ホイールシリンダー	グリース	ニグルーブRX-2	ピストンブーツ内
		パ ッ ド	グリース	PBCグリース	パッドとサポートの摺動部 パッドとシムの接触面
11	ドラムブレーキシューと バックプレートの接触面		グリース	ブレーキグリース (ダフコーニング: モリコート7439)	
12	ステアリングギヤボックス		グリース	バリエントグリースM2	
13	ギヤチェンジレバー摺動部		グリース	出光ダフニコロニクスNo.2	
14	その他 ベダル摺動部, リヤゲートヒンジ, ドア ヒンジ, ドアチェッカー, エンジンフー ドロック部, フューエルフィラリッド		グリース	サンライト2号 オートレックスA コバコート	

＜エンジン＞					車 種		NA-EMPi	NA-キャブ	SC-EMPi
車 種	種	NA-EMPi	NA-キャブ	SC-EMPi	ス タ ー タ ー 出 力		0.65KW（日立）：MT 4WD		
エ ン ジ ン 型 式		EN07F	EN07C	EN07Y			0.65KW（三菱）：MT 2WD		
排 気 量（cc）		658					0.80KW（三菱）：AT全車		
内 径 × 行 程（mm）		56.0×66.8			サーモスタット	開 弁 温 度	78℃		
最高出力（ネット）（ps/rpm）		46/6400	40/6500	55/6200		弁全開温度	93℃		
最大トルク（ネット）（kg・m/rpm）		5.6/4800	5.5/3500	7.1/3800	エンジンオイル油量（ℓ）		約3.0（MT）		約3.0（MT） 約3.1（AT）
圧 縮 比		9.8	9.8	9.3					
圧 縮 圧 力 kg/cm ² /rpm		11.3/300	11.3/300	9.8/300	Vリブドベルト のゆるみ （mm/10kg） 〔 〕 内は継続 使用の場合	ACG	9～11 〔11～13〕	9～11 〔11～13〕	7～8 〔7～9〕
シリンダーヘッド歪み限度（mm）		0.05				ACG+A/C	5～6 〔6～7〕	5～6 〔6～7〕	—
シリンダーヘッド研磨限度（mm）		0.10				SC	—	—	6～8 〔7～9〕
シリンダーブロック歪み限度（mm）		0.05							
シリンダーブロック研磨限度（mm）		0.15			アイドル C O 濃 度		0.5%以下	1.5%以下	0.5%以下
ス パ ー ク プ ラ グ		NGK：BKR6E-11＜PFR6B-11＞ ND：K20PR-U11 （白金プラグ）			アイドル H C 濃 度		500ppm 以下	800ppm 以下	500ppm 以下
スパークプラグギャップ（mm）		1.0～1.1			冷却水容量（ℓ）（リザーブタンク含）		約6.5ℓ		
イグニッション	1次コイル抵抗	0.85Ω	1.2Ω	0.95Ω	点 火 順 序		1 - 3 - 4 - 2		
コ イ ル	2次コイル抵抗	13.0kΩ	26.0kΩ	10.0kΩ	燃 料 圧 力 （kg/cm ² ）	IG SW ON 時	約3.1		
点火時期 BTDC°/rpm		10°/800	6°/800	10°/800		アイドリング時	約2.6		
バルブクリアランス（mm）	インテーク	0.15（冷間）			＜トランスミッション＞				
	エキゾースト	0.20（冷間）			ギヤオイル量 〔 トランス ミッション （交換時） 2WD 4WD フルタイム	—	5MT	約1.9ℓ	
ヘッドボルト 締付けトルク（冷間）	3.0kg・mで締付後一旦ゆるめ2.0kg・mにて締付後、更に90°締付ける。 〔参考〕 この時締付トルクは 3.5～4.0kg・mの範囲になる。			4WD セレクトイブ		EL+5MT	約2.1ℓ		
	マニホールド 締付トルク N・m〔kg・m〕	インテーク	15.7±1.0〔1.6±0.1〕			EL+5MT デフロック、フリー ホイールアクスル付	約2.2ℓ		
オルタネーター	出 力	12V-55A	12V-45A			12V-55A	5MT	約1.9ℓ	
	調 整 電 圧	14.5V				5MT	約2.0ℓ		
					ギヤオイル量 （フロントデフ）		0.8ℓ （フリーアクスル付：0.9ℓ）		
					スバルATF（3AT専用） 総油量 ⑤オイルクーラー分	2WD	3.8ℓ		
						2WD 赤帽	4.1ℓ		
						4WD	4.2ℓ		
注）実車でドレーンプラグから抜いた時約1.5ℓだけ抜ける。									

サービスデータ

＜ボディ＞				アクスルナット 締付トルク N・m [kg・m]	リ ヤ	235 [24.0] (30°以内増締)			
		2WD	4WD						
フューエルタンク容量			40 ℓ		フロント	176±20 [18.0±2.0]			
フューエルポンプ 吐出量 ℓ/h	NA		15	—	ホイールサイズ		12×4.00B		
	SC		—	95	ホイールナット締付けトルク		8～10.0kg・m		
ラジエーターキャップ 開弁圧 kg/cm²	正圧側		0.9±0.15		ステアリングホイール		0～25mm		
	負圧側		－0.05以下		舵 角	内 側	36°25' +1°30' －2°30'		
ブレーキペダル (mm)	遊び		1～3				外 側	33°10' +1°30' －2°30'	
	床下とのすき間		110以上						
クラッチペダル (mm)	遊び		10～25		ディスクローターの厚さ (mm)	標 準	18mm		
	床下とのすき間		90以上			限 度	16.0mm		
フロント ホイール アライメント 〔フロントクロ スメンバー下 面の取付ボル トの頭部〕	キャンバー (度)		1°±45'		ディスクパッドの厚さ (mm)	標 準	9mm		
	キャスター (mm)		3°50'±1°			限 度	1.5mm		
	トーイン (mm)		IN 1±3		ライニング厚さ (mm)	標 準	4.4mm		
	サイドスリップ(mm)		0±3			限 度	1.7mm		
	地 上 高 (mm)	12"バイアス		338±12		ライニング (ドラム内径)	標 準	180mm	
		12"ラジアル 145R12		321±12			限 度	182mm	
		ト ラ イ (mm)	12"ラジアル 155SR12		321±12		ハンドブレーキレバー	操作力	20kg
	145SR12		引き代	7～9ノッチ					
	リヤホイール アライメント 〔トレーリング アーム取付け ボルト中心〕	キャンバー (度)		0°50'±1°		バッテリー型式 () は 5時間率容量を示す。	MT	26B17L (12V-21AH)	38B20L (12V-28AH)
		トーイン (mm)		IN 1±3			3AT	26B17L (12V-21AH)	38B20L (12V-28AH)
サイドスリップ(mm)		0±5							
地 上 高 (mm)		12"バイアス		299±12		ディスクホイール (スペアタイヤを除く)	オフ セット	45.0	
		12"ラジアル 145R12		286±12			PCD	100	
		ト ラ イ (mm)	12"ラジアル 155SR12		282±12		タイヤ空気圧 (kg/cm²) 定積時を示す () 後輪	5.00-12-4PR/6PR (前)(後)	トラック
145SR12			280±12		145R12-6PR	2.2 (3.0)			
					5.00-12-4PR/6PR	バ ン		2.2 (3.0)	
								145R12-6PR	2.2 (3.0)
						145SR12		ディアス	2.2 (2.2)
				155SR12		2.0 (2.2)			

- ・ 日常点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- ・ 「●」印は法定項目, 「○」はメーカー指定項目を示す。
- ・ 「◇」印はシビアコンディション時 (メーカー指定), 「◆」は距離項目 (法定) の点検時期を示す。

■ 点検整備項目

点検整備項目			点検整備時期				判定基準	備考							
			自家用乗用車等												
点検箇所		点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎									
かじ取り装置	ハンドル	操作具合				●									
	ギヤボックス	取付けの緩み			◇	◆									
	ロッド及びアーム類	緩み, がた及び損傷				◆									
		ボールジョイントのダストブーツの亀裂及び損傷			◇	●									
	かじ取り車輪	ホイールアライメント				◆	・ トーイン 1±3mm ・ キャンバー 1°±45' ・ キャスター 3°50'±1°								
	パワーステアリング装置	取付けの緩み				◆									
制動装置	ブレーキペダル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	●		●	●	・ 遊び 1～3mm ・ 踏力約294N {30kgf} で踏込時床板とのすき間 110mm以上								
		ブレーキのきき具合	●		●	●	<table><tr><td colspan="2">制動力</td></tr><tr><td>後輪和</td><td>軸重の 60%以上</td></tr><tr><td>各輪左右差</td><td>軸重の 8%以下</td></tr><tr><td>総和</td><td>検査時車両重量の60%以上</td></tr></table> (注) 前軸の全ての車輪がロックし, 計測困難な場合は, その状態で総和に対し適合するとみなす。	制動力		後輪和	軸重の 60%以上	各輪左右差	軸重の 8%以下	総和	検査時車両重量の60%以上
	制動力														
	後輪和	軸重の 60%以上													
	各輪左右差	軸重の 8%以下													
	総和	検査時車両重量の60%以上													
	駐車ブレーキレバー	引きしろ	●		●	●	・ 操作力 196N {20kgf} 引きしろ 7～9ノッチ 全ストローク 17ノッチ								
		ブレーキのきき具合			●	●	・ 制動力 検査時車両重量の20%以上 ・ 操作力 50kg以下								
ロッド及びケーブル類	緩み, がた及び損傷				◆										
ホース及びパイプ	漏れ, 損傷及び取付状態		◇	●	●										
リザーバータンク	液量	●				・ 液面レベル MAXラインとMINラインの間にあること									
マスターシリンダー, ホイールシリンダー及びディスクキャリパー	液漏れ			●	●										
	機能, 摩耗及び損傷				●										

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期				判定基準	備考																						
		自家用乗用車等																											
点検箇所	点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎																								
制動装置	ブレーキ・ドラム及びブレーキシュー	ドラムとライニングのすき間			◆	◆		・自動調整式のため点検不要																					
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗		◇	◆	◆	<table><tr><td>標準厚さ</td><td>使用限度</td></tr><tr><td>4.4mm</td><td>1.7mm</td></tr></table>	標準厚さ	使用限度	4.4mm	1.7mm																		
		標準厚さ	使用限度																										
	4.4mm	1.7mm																											
	ドラムの摩耗及び損傷			◇	●	<table><tr><td>標準径</td><td>使用限度</td></tr><tr><td>180.0mm</td><td>182mm</td></tr></table>	標準径	使用限度	180.0mm	182mm																			
	標準径	使用限度																											
180.0mm	182mm																												
ブレーキ・ディスク及びパッド	ディスクとパッドとのすき間			◆	◆		・自動調整式のため点検不要																						
	パッドの摩耗		◇	◆	◆	<table><tr><td></td><td>標準厚さ</td><td>使用限度</td></tr><tr><td>前輪</td><td>9.0mm</td><td>1.5mm</td></tr></table>		標準厚さ	使用限度	前輪	9.0mm	1.5mm																	
		標準厚さ	使用限度																										
前輪	9.0mm	1.5mm																											
ディスクの摩耗及び損傷			◇	●	<table><tr><td></td><td>ディスク有効径mm</td><td>標準厚さ</td><td>使用限度</td></tr><tr><td>前輪</td><td>184</td><td>18.0mm</td><td>16.0mm</td></tr></table>		ディスク有効径mm	標準厚さ	使用限度	前輪	184	18.0mm	16.0mm																
	ディスク有効径mm	標準厚さ	使用限度																										
前輪	184	18.0mm	16.0mm																										
走行装置	ホイール	タイヤの空気圧	●				<table><tr><td colspan="3">◇ (単位Kpa {kgf/cm²})</td></tr><tr><td>タイヤの仕様</td><td>前輪</td><td>後輪</td></tr><tr><td>5.00-12-4PR (前輪) ULT</td><td>220 {2.2}</td><td>—</td></tr><tr><td>5.00-12-6PR (後輪) ULT</td><td>—</td><td>300 {3.0}</td></tr><tr><td>145R12-6PR LT</td><td>220 {2.2}</td><td>300 {3.0}</td></tr><tr><td>145SR12</td><td>220 {2.2}</td><td>220 {2.2}</td></tr><tr><td>155SR12</td><td>200 {2.0}</td><td>220 {2.2}</td></tr></table>	◇ (単位Kpa {kgf/cm ² })			タイヤの仕様	前輪	後輪	5.00-12-4PR (前輪) ULT	220 {2.2}	—	5.00-12-6PR (後輪) ULT	—	300 {3.0}	145R12-6PR LT	220 {2.2}	300 {3.0}	145SR12	220 {2.2}	220 {2.2}	155SR12	200 {2.0}	220 {2.2}	
		◇ (単位Kpa {kgf/cm ² })																											
		タイヤの仕様	前輪	後輪																									
		5.00-12-4PR (前輪) ULT	220 {2.2}	—																									
		5.00-12-6PR (後輪) ULT	—	300 {3.0}																									
		145R12-6PR LT	220 {2.2}	300 {3.0}																									
	145SR12	220 {2.2}	220 {2.2}																										
155SR12	200 {2.0}	220 {2.2}																											
タイヤの亀裂及び損傷	●																												
タイヤの溝の深さ及び異常な摩耗	●		●	●	・残溝 1.6mmまで ・高速走行時 (LTタイヤ) 2.4mmまで																								
ホイールナット及びホイールボルトの緩み			◆	◆	・ホイール・ナットの締付けトルク 8.0～10.0kg・m																								
フロントホイールベアリングのがた				◆	・ベアリング軸方向の遊び 0～0.05mm以下																								
リヤホイールベアリングのがた				◆	・ベアリング軸方向の遊び 0～0.3mm以下																								
緩衝装置	取付部及び連結部	緩み, がた及び損傷			◇	●																							
	ショックアブソーバー	油漏れ及び損傷				●																							

点検整備方式

点検整備項目			点検整備時期				判定基準	備考
			自家用乗用車等					
点検箇所	点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎			
動力伝達装置	クラッチ	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間			●	●	● 遊び 10～25mm ● 切れたときの床板とのすき間 90mm以上	● AT車は点検不要
	トランスミッション及びトランスファー	油漏れ及び油量			●	●		
	プロペラシャフト及びドライブシャフト	連結部の緩み			◆	◆		
		自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷			◇	●		
	デファレンシャル	油漏れ及び油量				◆	フィラプラグ穴下面より0～5mm間にあること	
電気装置	点火装置	点火プラグの状態			●	●		
		点火時期			●	●	(単位：BTDC°/rpm) 原動機型式 SC車 キャブP/S付 キャブ mpi EN07 4°/800 6°/800 6°/850 10/800	
		ディストリビューターのキャップの状態			●	●		
	バッテリー	液量	●				● 液面レベル UPPER LEVEL～LOWER LEVEL間にあること	
		ターミナル部の接続状態			●	●		
	電気配線	接続部の緩み及び損傷				●		
	原動機	本体	かかり具合及び異音	●				
低速及び加速の状態			●				アイドリング回転数 原動機型式 キャブMT車P/S付 3AT車 左記以外 EN07 850 800 800	
排気の状態					●	●		
エアクリーナーエレメントの状態				◇	◆	◆		
潤滑装置		油漏れ			●	●		
		油量	●				● レベルゲージのF～L間にあること	
燃料装置		燃料漏れ			◇	●		
		リンク機構の状態				●		
		スロットルバルブ及びチヨークバルブの状態				●		● スロットル・バルブの状態
冷却装置		水量	●				● リザーバータンクFULL～LOW間又はF～L間にあること	
		ファンベルトの緩み及び損傷			●	●		×
		水漏れ			●	●		

点検整備方式

点検整備項目			点 検 整 備 時 期				判 定 基 準	備 考
			自家用乗用車等					
点検箇所		点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎		
ばい煙・悪臭のあるガス・有害なガス等の発散防止装置	ブローバイ・ガス還元装置	メーターリングバルブの状態				●		
		配管の損傷				●		
	燃料蒸発ガス排出抑止装置	配管等の損傷				●		
		チャコール・キャニスターの詰まり及び損傷				●		
		チェックバルブの機能				●		
	一酸化炭素等発散防止装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷				●		
		二次空気供給装置の機能				●		×
		排気ガス再循環装置の機能				●		×
		減速時排気ガス減少装置の機能				●		×
		配管の損傷及び取付状態				●		
	熱害防止装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷				●		
灯火装置及び方向指示器		作用	●					
窓ふき器、洗浄液噴射装置		作用	●					
エグゾーストパイプ及びマフラ	取付けの緩み及び損傷			●	●			
	マフラーの機能				●			
車枠及び車体		緩み及び損傷				●		
運行において異常が認められた箇所		当該箇所の異常がないことを確認	●					
電気装置	充電発電機	ベルトの緩み及び損傷			○	○		
原動機	本体	弁すき間						4万km毎の点検
	過給装置	過給圧制御装置の機能				○		

点検整備方式

■ 定期交換部品項目

定期交換部品項目	交換時期		備 考
	年 毎 交 換 単 位 : 年	走 行 キ ロ 毎 交 換 : 千 km	
ブレーキ液	2 [3]		
マスターシリンダーのゴム部品	[2 [3]]		
ホイールシリンダーのゴム部品	[2 [3]]		
ブレーキホース	[4 [5]]		
トランスミッションオイル		40	
デファレンシャルオイル		40	
点火プラグ		100	白金プラグ
エアークリーナーエレメント		50 [25]	
タイミング・ベルト		100	
オイルフィルター		10 [5]	
エンジンオイル	0.5 [0.25]	10 [5]	
燃料フィルター		60	
冷却水	2 [3]	40	

注) 1. 交換時期は年又は走行キロどちらか早い方にて交換する。

2. [] 印は乗用車初回, 「 」 印はシビアコンディション時での交換時期を示す。

MEMO

Handwriting practice area with 20 horizontal dashed lines.

<関連資料>

SAMBAR660	新 型 車 解 説 書	'90.3	U7271A
SAMBAR660	新型車解説書 概要編	'90.3	U7272A
SAMBAR660	整備解説書 上巻	'90.3	G7271A
SAMBAR660	整備解説書 下巻	'90.3	G7272A
SAMBAR660	電 子 制 御 装 置 トラブルシューティング マ ニ ュ ア ル	'90.3	P7291A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'90.3	X7271A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書 ・ 整備解説書 LPG車	'90.7	U7273A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書	'91.9	U7281A
SAMBAR660	整 備 解 説 書	'91.9	G7281A
SAMBAR660	電 子 制 御 装 置 トラブルシューティング マ ニ ュ ア ル	'91.9	P7281A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'91.9	X7281A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書	'92.10	U7291A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'92.10	X7291A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書 ・ 整 備 解 説 書	'93.12	U7301A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'93.12	X7301A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書	'95.10	U7311A
SAMBAR660	整 備 解 説 書	'95.10	G7311A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'95.10	X7311A
SAMBAR660	新 型 車 解 説 書	'96.9	U7321A
SAMBAR660	電 気 配 線 図 集	'96.9	X7321A
SAMBAR660	電 子 制 御 装 置 トラブルシューティング	'96.9	P7321A
SAMBAR660	整 備 解 説 書	'96.9	G7321A

㊤ - 2,700 - 100

1997 年 11 月 発行 1版

禁複製・転載

編 集 ・ 発 行

富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目 7 番 2 号

問い合わせ先：国内営業本部国内サービス部
サービス教育課



富士重工業株式会社

G7331A